

第11回富山県腎疾患・人工透析研究会, 1985, 12, 富山.

44) 中田瑛浩, 片山 喬: 副腎再生性高血圧症における高血圧維持機能—血管結合組織タンパク質の代謝亢進について—. 第5回富山循環不全治療研究会, 1985, 7, 富山.

#### ◆ その他

1) 中田瑛浩: 前立腺肥大症のアンチアンドロゲン療法. 日本医事新報 3209:129—130, 1985.

2) Nakada T.: Urinary kallikrein in primary aldosteronism. International Synopses 1-3, 1985.

3) 寺田為義, 片山 喬: 超音波 Doppler 法を用いての Varicocele の診断と治療効果判定. 第47回日超医講演論文集 933—934, 1985.

## 麻 酔 科

教 授	伊 藤 祐 輔
助 教 授	久 世 照 五
講 師	里 村 敬 明
講 師	増 田 明
助 手	田 辺 隆 一
助 手	八 木 裕 一 郎
助 手	山 崎 光 章 子
助 手	大 田 良 子
助 手	島 田 雅 子
助 手	林 睦 子
助 手	桐 山 昌 子
助 手	渋 谷 伸 子
助 手	増 田 達 子
文 部 技 官	山 本 昌 子

#### ◆ 著 書

1) 伊藤祐輔, 樋口昭子: アルカローシスの生体への影響. 「麻酔科Q&A138」岡田和夫, 沼田克雄編, 46—47, 金原出版, 1985.

2) 伊藤祐輔, 樋口昭子: 局所麻酔の合併症. 「44外科MOOK. 局所麻酔」稲田 豊編, 102—108, 金原出版, 1985.

3) 伊藤祐輔: 帯状疱疹後神経痛の1例. 「現代の漢方治療」態谷 朗監, 288—299, 東洋学術出版, 1985.

#### ◆ 原 著

1) 伊藤祐輔, 八木裕一郎, 増田 明: シンポジウム“麻酔のリスク因子の解析”—3. 神経系代謝系一. 日本手術部医学会雑誌 6:39—43, 1985.

2) 佐々木均, 樋口昭子, 佐藤根敏彦, 渋谷伸子,

伊藤祐輔, 菊地和彦, 乙供通則: 昏睡の子後判定における聴性誘発反応. 臨床麻酔 9:192—196, 1985.

3) 増田 明, 山崎光章, 伊藤祐輔: 内部が透見される麻酔用マスクの考案. 臨床麻酔 9:355, 1985.

4) 佐々木均, 佐藤根敏彦, 樋口昭子, 伊藤祐輔: Total spinal block 時の聴性脳下幹反応及び聴性中間反応. 北陸麻酔学雑誌 19:5—12, 1985.

5) 伊藤祐輔, 久世照五, 里村 敬, 増田 明, 八木裕一郎, 山崎光章, 杉森 隆, 桐山昌子, 林睦子, 島田雅子, 渋谷伸子, 広田弘毅, 佐藤根敏彦, 樋口昭子, 佐々木均: 富山医科薬科大学および手術部発足5年間の臨床活動. 北陸麻酔学雑誌 19:25—30, 1985.

6) 久世照五, 八木裕一郎, 伊藤祐輔, 宮原龍郎, 小新松典, 森 正明, 孤塚 寛: [I—<sup>14</sup>C]—酢酸. Na 投与後の呼気<sup>14</sup>CO<sub>2</sub> 排出と<sup>14</sup>C 体内分布. 麻酔 34:649—655, 1985.

7) 増田 明, 川原昌彦, 山本昌子, 山崎光章, 桐山昌子, 渋谷伸子, 伊藤祐輔: ラット気管内注入胆汁の気管・肺組織に及ぼす影響. 麻酔 34:1653—1656, 1985.

8) 増田 明, 伊藤祐輔, 樋口昭子, 佐藤根敏彦: シフェニルヒダントインによりアナフィラキシー様反応を呈した1例. 臨床麻酔 9:741—743, 1985.

9) 佐藤祐次, 林 睦子, 広田弘毅, 渋谷伸子, 伊藤祐輔: レペタン®(塩酸ブプレノルフィン)の塩部手術後疼痛に対する効果. 薬と治療 13:3573—3577, 1985.

10) 久世照五, 伊藤祐輔, 高道昭一, 樋口昭子, 佐藤根敏彦: セントラルパイピングの配管づまり検出器. 臨床麻酔 9:1135, 1985.

11) 久世照五, 杉森 隆, 伊藤祐輔, 中丸勝人: 国内外の乳酸リンゲル液製品中のL—乳酸とD—乳酸の測定. 臨床水電解質 4:437—439, 1985.

12) 佐々木均, 佐藤根敏彦: 聴性脳幹反応に及ぼす全身麻酔の影響. 麻酔と蘇生 20:343—347, 1985.

13) 中丸勝人, 佐々木均, 佐藤根敏彦, 伊藤祐輔, 久世照五, 山崎光章, 樋口昭子, 中丸勝人, 田辺隆一: 血液ガス分析検体におけるイオン化カルシウム測定の基礎的検討. ICUとCCU 9:1157—1162, 1985.

14) 林 睦子, 増田 明, 久世照五, 伊藤祐輔, 樋口昭子: 導入時の不整脈によって発見された原発

性アルドステロン症の1例。臨床麻酔 9:1545-1546, 1985.

15) 青野 允, 七沢雅子, 高橋貞就, 森 秀麿, 山崎一也: 脊髄損傷後の痙縮に対するフェノールによる治療。日本医事新報 3188:28-31, 1985.

16) 広田弘毅, 林 睦子, 久世照五, 伊藤祐輔, 樋口昭子: 過去5年間の喘息発作の集計。北陸麻酔学雑誌 19:19-23, 1985.

17) 渋谷伸子, 島田雅子, 久世照五, 佐々木均, 樋口昭子: 重篤な喘息を合併したアレルギー性肉芽腫性血管炎患者の麻酔管理。北陸麻酔学雑誌 19:47-51, 1985.

18) 里村 敬, 佐藤祐次, 久世照五, 伊藤祐輔: 帯状疱疹後神経痛に対する神経ブロックと和漢薬の併用療法の試み。和漢医薬学雑誌 2:146-147, 1985.

19) 高道昭一, 佐藤根敏彦, 伊藤祐輔, 渋谷伸子, 広田弘毅, 久世照五: 麻酔器流量計精度測定上の留意点。医科器械学 55(Suupl):21-23, 1985.

20) 里村 敬, 島田雅子, 久世照五, 伊藤祐輔: 三叉神経痛様症状を呈した脳腫瘍の2例。日本ペインクリニック学会1985年総会号 218-219, 1985.

21) Yoshiko Nishizawa, Tadashi Kurihara, Toru Masuda, and Yasuo Takahashi: Immunohistochemical localization of 2',3'-cyclic nucleotide 3-phosphodiesterase in adult bovine cerebrum and cerebellum. Neurochemical Research 10:1107-1118, 1985.

#### ◆ 学会報告

1) 久世照五, 山本昌子, 伊藤祐輔, 宮原龍郎, 小新松典, 孤塚 寛: L-乳酸とD-乳酸の検討。第6回放射線同位元素実験施設利用者研究発表会, 1985, 3, 富山.

2) 東藤義公, 村上誠一, 久世照五: 6種類のPhase II block 測定方法の量的相関。第32回日本麻酔学会, 1985, 5, 秋田.

3) 八木裕一郎, 久世照五, 伊藤祐輔, 高道昭一: 麻酔器笑気カットオフ安全機構トラブルによる高濃度酸素事故。第32回日本麻酔学会, 1985, 5, 秋田.

4) 里村 敬, 増田 達, 伊藤祐輔, 金本郁夫, 谷村徳徳: ケタミン投与後の血漿中濃度の推移について。第32回日本麻酔学会, 1985, 5, 秋田.

5) 増田 明, 山本昌子, 渋谷伸子, 桐山昌子, 山崎光章, 伊藤祐輔: Neutral red による脳組織PH測定を試み。第32回日本麻酔学会, 1985, 5, 秋田.

6) 久世照五, 山本昌子, 伊藤祐輔, 宮原龍郎, 小新松典, 孤塚 寛: L-乳酸とD-乳酸代謝の検

討。第32回日本麻酔学会, 1985, 5, 秋田.

7) 中丸勝人, 伊藤祐輔, 久世照五: 酸素法におけるL-乳酸測定の問題点と酸素電極法との比較。第34回日本臨床衛生検査学会, 1985, 5, 盛岡.

8) 高道昭一, 佐藤根敏彦, 伊藤祐輔, 渋谷伸子, 広田弘毅, 久世照五: 麻酔器流量計精度測定上の留意点。第60回日本医科器械学会, 1985, 5, 東京.

9) 増田 明: 全麻中, アレピアチンによると思われるアナフィラキシーショックの1例。昭和60年度富山県麻酔科医学会研究会, 1985, 6, 富山.

10) 里村 敬: シンポジウム“星状神経節ブロック”一適応と手技の紹介。昭和60年度富山県麻酔科医学会研究会, 1985, 6, 富山.

11) 島田雅子: 星状神経節ブロック(花粉症鼻アレルギー)と関連して。昭和60年度富山県麻酔科医学会研究会, 1985, 6, 富山.

12) 里村 敬, 島田雅子, 久世照五, 伊藤祐輔: 三叉神経痛様症状を呈した脳腫瘍の2例。第19回日本ペインクリニック学会, 1985, 7, 札幌.

13) 里村 敬, 島田雅子, 伊藤祐輔, 久世照五: SLE様症状を伴った帯状疱疹の1例。第22回新潟麻酔懇話会, 1985, 7, 新潟.

14) 増田 達, 五味知治, 藤岡基二: 逆相クロマトグラフィーによるS-アデノシルメチオニンおよびその関連物質の分離, 定量。第8回含硫アミノ酸研究会, 1985, 8, 大津.

15) 山崎光章, 川原昌彦, 山本昌子, 増田 明, 伊藤祐輔: 低酸素虚血が大脳皮質細胞内のCa<sup>++</sup>分布に及ぼす影響。第4回日本蘇生学会総会, 1985; 9, 松本.

16) 桐山昌子, 増田 明, 林 睦子, 渋谷伸子, 山崎光章, 伊藤祐輔: Methyl prednisolone の脳血管透過性亢進に対する予防効果。第4回日本蘇生学会総会, 1985, 9, 松本.

17) 杉森 隆, 伊藤祐輔: 北陸地方におけるCholinesterase Cs Isozyme 保有者の頻度。第37回日本麻酔学会北陸地方会, 第39回北陸医学会総会, 1985, 9, 福井.

18) 島田雅子, 里村 敬, 久世照五, 伊藤祐輔: 当科における帯状疱疹および疱疹後神経痛について—6年間の統計的考察—。第37回日本麻酔学会北陸地方会, 第39回北陸医学会総会, 1985, 9, 福井.

19) 増田 明: 実験的脳低酸素症の形態学的研究。第37回日本麻酔学会北陸地方会, 第39回北陸医学会総会, 1985, 9, 福井.

20) 里村 敬, 島田雅子, 久世照五, 伊藤祐輔: 三叉神経痛への五苓散投与の試み。第2回和漢医薬

学会, 1985, 9, 京都.

21) 高道昭一, 佐藤根敏彦, 久世照五, 伊藤祐輔: 試作した配管つまり検出器によるセントラルパイピングの点検. 第7回日本手術部医学会, 1985, 10, 東京.

22) 田辺隆一: 救急外傷を扱うそれぞれの立場での, 対応と問題点について—専門医の立場から—. 第3回富山救急医療研究会, 1985, 9, 富山.

23) 久世照五, 大田良子, 林 睦子, 渋谷伸子, 広田弘毅, 伊藤祐輔, 中丸勝人, 佐藤根敏彦: 術中補液としての硫酸リンゲル液と5%ブドウ糖加乳酸リンゲル液の検討. 1985, 11, 長崎.

24) 里村 敬, 伊藤祐輔, 島田雅子, 久世照五, 山下直宏: SLE様症状を伴った帯状疱疹の1例. 第5回日本臨床麻酔学会総会, 1985, 11, 長崎.

25) 林 睦子, 増田 明, 広田弘毅, 伊藤祐輔, 桐山誠一, 伊藤 博: 肝硬変患者に対するエンフレン麻酔の影響. 第5回日本臨床麻酔学会総会, 1985, 11, 長崎.

26) 渋谷伸子, 山崎光章, 広田弘毅, 久世照五, 富田 博: ポーテックスプロフィルカフチューブとトラキロンチューブの術後嘔声, 咽頭痛発生の検討. 第38回日本麻酔学会北陸地方会, 1985, 12, 福井.

27) 八木裕一郎, 増田 明, 中丸勝人: 各種輸血フィルターの新鮮血血液成分に対する影響. 第38回日本麻酔学会北陸地方会, 1985, 12, 福井.

28) 中西拓郎, 山崎光章, 渋谷伸子, 田辺隆一: 甲状腺手術後の呼吸器系合併症の3例の検討—反回神経麻痺との関連について—. 第38回日本麻酔学会北陸地方会, 1985, 12, 福井.

29) 中西拓郎, 山崎光章, 渋谷伸子, 荒井志郎, 野田 隆, 神田静人, 加藤正博, 小西秀夫, 田辺隆一, 桐山昌子, 喀血を契機として発見された褐色細胞種の麻酔管理の1例. 第38回日本麻酔学会北陸地方会, 1985, 12, 福井.

30) 大田良子, 渋谷伸子, 広田弘毅, 久世照五, 奥野政一, 中丸勝人, 高道昭一: ベイン回路における動脈血炭酸ガス分圧についての検討. 第38回日本麻酔学会北陸地方会, 1985, 12, 福井.

31) 里村 敬: アスピリンの生体内動態の検討. 第38回日本麻酔学会北陸地方会, 1985, 12, 福井.

32) 田辺隆一, 中西拓郎, 桐山昌子, 大田良子, 伊藤祐輔: ペインクリニックの現況. 第38回日本麻酔学会北陸地方会, 1985, 12, 福井.

33) 江崎公明, 岡本奉介, 宮崎久義, 山本貴弘, 山口祐史, 中村真理, 伊藤祐輔: 手術前夜の抗不安薬使用の効果. 第23回九州麻酔学会, 1985, 12,

沖縄.

34) 樋口昭子: 心電図R-R間隔でみた麻酔前前投薬の効果. 第23回新潟麻酔懇話会, 1985, 12, 新潟.

35) 増田 明, 桐山昌子, 山本昌子, 広田弘毅, 伊藤祐輔: 脳血管の透過性亢進に対するステロイド. ウリナスタチンの効果. 第23回新潟麻酔懇話会, 1985, 12, 新潟.

#### ◆ その他

1) 里村 敬, 久世照五, 伊藤祐輔: 帯状疱疹におけるスルガムの使用経験. 富山県スルガム研究会, 1985, 3, 富山.

2) 増田 明, 渋谷伸子, 桐山昌子, 山崎光章, 伊藤祐輔: 全身麻酔下ミリスロールの眼圧に及ぼす影響. 北陸地区ミリスロール注学術講演会, 1985, 4, 富山.

3) 伊藤祐輔: 救急蘇生法. 交通事故救急法教育講習会, 1985, 8, 富山.

4) 佐藤根敏彦, 富田 博, 伊藤祐輔: 術中高血圧に対するミリスロール投与の経験. 富山県ミリスロール注学術講演会, 1985, 11, 富山.